

300年の時を超え 京都で出会うバッハとストラディヴァリウス

豊嶋泰嗣 バッハ・プロジェクト

YASUSHI TOYOSHIMA
— WORKS for VIOLIN —
by JOHANN SEBASTIAN BACH



(公財)青山音楽財団助成公演

11/9(土), 23(土・祝) 両日とも 14:00開演

青山音楽記念館〈バロックザール〉

2019

協賛：京都府立府民ホール

12/1(日) 14:00開演

京都府立府民ホール〈アルティ〉

マネジメント：エラート音楽事務所

11/9

(土) 14:00



CONCERT 1 (公財) 青山音楽財団助成公演

WORKS for SOLO VIOLIN

大バッハの神髄に迫る。

〈J.S. バッハ：無伴奏ソナタ&パルティータ全曲〉

ソナタ第1番 ト短調 BWV1001、パルティータ第1番 ロ短調 BWV1002
ソナタ第2番 イ短調 BWV1003、パルティータ第2番 ニ短調 BWV1004
ソナタ第3番 ハ長調 BWV1005、パルティータ第3番 ホ長調 BWV1006

青山音楽記念館〈バロックザール〉 Barocksaal
青山音楽記念館

11/23

(土・祝) 14:00



CONCERT 2 (公財) 青山音楽財団助成公演

SONATAS for VIOLIN and CEMBALO

名チェンバリスト=中野振一郎とともに。

〈J.S. バッハ：ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ全曲〉

ソナタ第1番 ロ短調 BWV1014、ソナタ第2番 イ長調 BWV1015
ソナタ第3番 ホ長調 BWV1016、ソナタ第4番 ハ短調 BWV1017
ソナタ第5番 ヘ短調 BWV1018、ソナタ第6番 ト長調 BWV1019

青山音楽記念館〈バロックザール〉 Barocksaal
青山音楽記念館

Profile

中野 振一郎 (チェンバロ)
Shinichiro Nakano, Cembalo

1986年桐朋学園大学音楽学部の演奏学科(古楽器専攻)を卒業。1990年に大阪で開いた4回連続独奏会「ヨーロッパ・チェンバロ音楽の旅」により「大阪文化祭金賞」等を受賞。翌年7月にはフランスの「ヴェルサイユ古楽フェスティバル」のクーブラン・サイクルに出演。ケネス・ギルパートやポップ・ファン・アスペレンら欧米を代表する名手と肩を並べ「世界9人のチェンバリスト」の一人に選ばれる。1992年「バークレー古楽フェスティバル」へ最年少の独奏家として招かれる。2003年「バッハフェスティバルライブツイヒ2003」に出演。2004年7月から8月にかけて行ったドイツでの単独リサイタルツアーが現地で大絶賛され、同年10月に日本で開催したリサイタルが「平

成16年度文化庁芸術祭・大賞」を受賞した。2009年アジア最大級の音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」に初出演。『パーセル作品集』で第47回レコードアカデミー賞(音楽史部門)に輝く。2010年チェンバロ演奏のための手引書「チェンバロをひこう」(音楽之友社)を出版。毎年、音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」(東京)では個性的なりサイタル・プログラムを披露し好評を博している。近年は、幅広いレパートリーと楽しいトークによるレクチャー・リサイタルも日本各地で高い人気を呼んでいる。京都市立芸術大学、名古屋音楽大学等で後進の指導にも励んでいる。

青山音楽記念館〈バロックザール〉



阪急電車嵐山線「上桂」駅下車、西へ300メートル

入 場 料

■ 全席指定 5,000円(各公演とも)

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

■ 3公演セット券:10,000円(エラート音楽事務所のみ取り扱い/限定50席)

チケッ ト 発 売

2019年7月13日(土)10:00AM~

ご 予 約 せ
お 問 合 せ

■ エラート音楽事務所 075-751-0617 (10:00~18:00)
※チケット発売日を除く土日祝休

■ チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 153-619)

■ ローソンチケット 0570-084-005 (Lコード 51652)
0570-000-405 (オペレータ)

チケッ ト
取 り 扱 い

■ 青山音楽記念館バロックザール 075-393-0011 (9:30~18:00) ※月・火休館
(11/9、23公演のみ)

■ 京都府立府民ホール 075-441-1414 (9:00~18:00) ※第1・第3月曜休館
(12/1公演のみ)

12/1
(日) 14:00

CONCERT 3 協賛：京都府立府民ホール

CONCERTOS for SOLO VIOLIN, 2 VIOLINS and 3 VIOLINS

名手を迎えて送るバロック協奏曲の最高峰。

共演：大谷玲子、松野弘明(以上、独奏vn)、スペシャルアンサンブル・トヨシマ



＜J.S.バッハ：ヴァイオリン協奏曲全曲＞

協奏曲第1番 イ短調 BWV1041、協奏曲第2番 ホ長調 BWV1042
協奏曲 ト短調 BWV1056R (原曲：チェンバロ協奏曲)
協奏曲 ニ短調 BWV1052R (原曲：チェンバロ協奏曲)
2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV1043*
3つのヴァイオリンのための協奏曲 ハ長調 BWV1064**

京都府立府民ホール〈アルティ〉 **ALTI**

大谷 玲子 (ヴァイオリン)*

Reiko Otani, Violin

桐朋学園大学卒業、同研究科修了。文化庁芸術家在外研修員としてブリュッセル王立音楽院大学院に学び、最優秀賞を得て首席卒業。東儀祐二、曽我部千恵子、原田幸一郎、小栗まち絵、江藤俊哉、イーゴリ・オイストラフの各氏に師事。Hクレバス、Yニーマン両氏の教えを受ける。1993年日本音楽コンクール第1位、増沢賞受賞。1996年ウィエニャフスキ国際コンクール最高位入賞、併せてウィエニャフスキの協奏曲、ポロネーズ、ソナタの各最優秀演奏賞を受賞。他、シュポア、日本、エリザベート王妃、ハノーファー、シベリウス等、数々の国際コンクールに入賞。ソリストとして、欧州ではメニューイン指揮シンフォニア・ヴァルソヴィア、ベルギー王立フランダース フィル、ハノーヴァー放送響、オランダ室内管弦楽団等と共演。国内では東京シニフィール、日本センチュリー響、関西フィル、九響、札幌響、いづみシンフォニエッタ大阪等の定期演奏会のソリストとして共演。2002年、音楽クリティック・クラブ奨励賞、ABC音楽賞・クリスタル賞、大阪市より咲くやこの花賞をそれぞれ受賞。2000年以降、サイトウ・キネン・オーケストラ、いづみシンフォニエッタ大阪のメンバーとして度々出演。CD「イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ全6曲」、及び「Polonaise」をリリース、レコード芸術誌「特選盤」、「準特選盤」に選ばれる。モスクワでの第5回D・オイストラフ国際コンクール審査員。ポーランド、ロシアにて度々マスタークラス&リサイタルを行なう。現在、相愛大学准教授、京都市立芸術大学非常勤講師。

松野 弘明 (ヴァイオリン)**

Hiroaki Matsuno, Violin

山梨県甲府市生まれ。6歳の時に才能教育海外派遣メンバーとして、アメリカ、カナダへの海外ツアーに参加。中学3年生の時、全日本学生音楽コンクール中学生の部全国第1位。桐朋学園大学在学中、日本音楽コンクール第3位、東京室内楽コンクールに入選。87年サイトウ・キネン・オーケストラの欧州ツアーに最年少メンバーとして参加。88年ニューイングランド音楽院に留学。在学中ニューイングランド室内楽団でコンサートマスターおよびソリストとして活躍。帰国後、ソリストとして、イギリス室内管やカメラータ・ドゥ・ロクセルロワ室内管等ヨーロッパのオーケストラの他、国内主要オーケストラとも共演を重ねる。また多くの指揮者やオーケストラから厚い信頼を寄せられ、ゲスト・コンサートマスターとして多くのオーケストラから招かれている。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団客員コンサートマスターを経て、現在、京都フィルハーモニー室内合奏団ソロコンサートマスターをつとめる。またソロ・リサイタルや室内楽コンサートで目覚ましく活躍。これまでにアイザック・スターン、アレクサンダー・シュナイダーといった20世紀を代表するアーティスト達とも数多く共演している。古典から現代までに及び幅広いレパートリーとその高度なテクニックに裏付けされた確かな音楽性が各方面から高く評価されている。

スペシャルアンサンブル・トヨシマ

- 《ヴァイオリン》 林 七奈 小西果林 太田かなえ 大藪英子 高田春花 柳楽毬乃 柴田夏未 高原里紗
- 《ヴィオラ》 江口純子 江川菜緒 藤村知史
- 《チェロ》 佐々木賢二 西村まなみ
- 《コントラバス》 井上大貴
- 《チェンバロ》 中野 振一郎

京都府立府民ホール〈アルティ〉



京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅6番出口より南へ徒歩5分

CD新譜リリース情報

新録音!!

2019年11月
2タイトル
リリース予定

豊嶋 泰嗣 × J.S.バッハ

J.S. バッハ：
無伴奏ヴァイオリン・ソナタ & パルティータ

＜収録＞2019年4月、6月、7月 愛知・碧南市芸術文化ホールにて収録

J.S. バッハ：
ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ

(チェンバロ：中野振一郎)
＜収録＞2019年7月 愛知・東海市芸術劇場にて収録



問い合わせ先 / 販売元：株式会社オクタヴィア・レコード TEL:03-6778-4141 www.octavia.co.jp

Profile, Member List

豊嶋泰嗣 渾身のプロジェクト。

大バッハが遺したヴァイオリンのための不朽の作品と同時代に誕生した名器。
300年の時を超え、京都で出会うバッハとストラディヴァリウス。

器楽の名作が次々と誕生したバッハ・ケーテン時代(1718年~20年頃)の創作とされるヴァイオリンのための作品群。
往時の品格と華やかさを高らかに謳いあげるイタリア・クレモナに誕生した名器ストラディヴァリウス(1719年製)。
300年の時を超え、バッハとストラディヴァリウスを京都で引き合わせる豊嶋泰嗣 渾身のプロジェクト。



豊嶋 泰嗣 (ヴァイオリン、指揮)
Yasushi Toyoshima, Violin

桐朋学園女子高等学校、桐朋学園で江藤俊哉、アンジェラの両氏に師事。桐朋学園在学中よりヴァイオリン、ヴィオラ奏者としてソリスト、室内楽、コンサートマスターとして演奏活動を始め。1986年、大学卒業と同時に弱冠22歳で新日本フィルのコンサートマスターに就任し楽壇デビュー。その後もサイトウ・キネン・オーケストラ、ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・オーケストラ等でコンサートマスターを務め、指揮者、オーケストラからの信頼も厚い。97年からは九州交響楽団と新日本フィルの強い要請により両楽団のコンサートマスターを兼任するという異例の就任で注目を集めた。現在は新日本フィルハーモニー交響楽団のソロコンサートマスター、九州交響楽団の桂冠コンサートマスター、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団のコンサートマスターをつとめ、京都市交響楽団他、ゲスト・コンサートマスターとしても活躍の場を広げている。

近年ではコルンゴルト、三善晃、バルトークなど、近現代の協奏曲のソリストとしてもオーケストラの定期演奏会に出演。2016年のデビュー30周年にはチェンバロの中野振一郎氏とバロックのレパートリーによる演奏会を開催して好評を博した。2016年と2017年の2年に渡りモーツァルトのヴァイオリン協奏曲全曲演奏を指揮者無しの弾き振りで大阪交響楽団と行い、その演奏はライブ録音でCD化され好評を博した。さらに2019年には結成20周年を迎えたアルティ弦楽四重奏団の演奏会や、ピアノフォルテと演奏したベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲演奏など、関西を拠点にした新たな活動に注目が集まっている。また、ピアニストのマルタ・アルゲリッチとの共演で、大分県別府市やイタリアのローマで成功を収めた。

指揮者の小澤征爾氏との30年に渡る信頼関係から、サイトウ・キネン・オーケストラや水戸室内管弦楽団でコンサートマスターを務め、急病で降板した小澤氏の公演で度々指揮者無しの演奏を任せられ成功に導いた。2018年12月に1年2ヶ月ぶりに指揮台に立って話題となったサントリーホールに於けるドイツグラモフォン創立120周年ガラコンサートでもコンサートマスターを務めた。

京都市立芸術大学、小澤征爾音楽塾、アルカスSASEBOのジュニアオーケストラの指導など、教育活動にも力を入れている。CDはポニーキャニオンからソロを3枚リリース、またアルカスSASEBOで録音したアルバム「テンダリー」をオクタビレコードよりリリースした。室内楽のCDは海外レーベルも含め多数発売されており好評を得ている。

91年村松賞、第1回出光音楽賞、92年芸術選奨文部大臣新人賞受賞。平成25年度兵庫県文化賞受賞。京都市立芸術大学教授、桐朋学園大学および大学院講師。チェンバーソロイスト佐世保 音楽監督。

1719年製 アントニオ・ストラディヴァリウスを使用。